

# 4. 医療費の助成

## ①重度心身障害児等医療費助成 身 療 精

各種健康保険による自己負担相当額（一部負担金）と入院時の食事療養費標準負担額及び生活療養費標準負担額（食費相当額）の半額を助成します。

- 対象**
- ・身体障害者手帳1級～3級の方
  - ・療育手帳Ⓐ、A、Bの方
  - ・精神障害者保健福祉手帳1級の方
  - ・65歳以上の一定の障害がある方で、埼玉県後期高齢者医療広域連合又は市長の認定を受けた方（身体障害者手帳4級の一部を所持している方／精神障害者保健福祉手帳1級又は2級を所持している方／障害基礎年金1級又は2級に該当している方）

※65歳以上で新たに上記の対象となった方は助成対象外となります。ただし、既に助成対象となっている方は、引き続き助成対象となります。

**所得制限** 本人に一定以上の所得がある場合は、支給停止になります。

**持ち物** 障害者手帳、または上記年金を条件とする方は障害基礎年金証書

加入医療保険を証するもの

手帳所持者の口座番号の分かるもの

所得証明書（所沢市で所得情報を確認できない方のみ）

マイナンバーの書類（詳しくは参考資料④ページ参照）

- ・個人番号カード（顔写真付きのカード）
- ・通知カード（自治体から送付されたカード）+本人確認書類

**問合せ** 障害福祉課 ☎2998-9116 Fax2998-1147

### 後期高齢者医療

**対象** 次のいずれかに当てはまる65歳から74歳の方は任意で加入できます。

- ・身体障害者手帳1級～3級、4級の一部
- ・療育手帳Ⓐ、A
- ・障害基礎年金1級、2級
- ・精神障害者保健福祉手帳1級、2級

**問合せ** 国民健康保険課

後期高齢者医療担当 ☎2998-9218 Fax2998-9061

## ②ひとり親家庭等医療費助成 身 療 精

各種健康保険による自己負担金を助成します。

**対象** 次のいずれかに当てはまる18歳年度末（又は児童が一定の障害を有する場合※は20歳未満）までの児童を養育する父・母・養育者

- ①父母が離婚
- ②父又は母が死亡
- ③父又は母が一定の障害を有する（該当になるか否かは認定医が判定します）
- ④その他の理由で父又は母がいない児童など

ただし、次のような場合、支給対象外となります。  
・児童が施設に入所している場合など

※児童が一定の障害を有する場合、延長には手続きが必要です。

**所得制限** 申請者及び扶養義務者に一定以上の所得がある場合は、支給停止になります。

**問合せ** こども支援課 ☎2998-9124 Fax2998-9035

## ③自立支援医療 身 精

障害者の方が心身の障害の軽減等を図るため、指定医療機関にて医療を給付する制度です。（精の有効期間は1年）

**対象** 身体障害者（児）、精神疾患のある方

※対象となる疾病等の詳細については、窓口にてお尋ね下さい。

**持ち物** 自立支援医療（精神通院医療）の意見書（診断書）※精のみ  
加入医療保険を証するもの（国民健康保険の場合は加入者全員分）  
住民税課税非課税証明書または同意書

マイナンバーの書類 《詳しくは参考資料④ページ参照》

- ・個人番号カード（顔写真付きのカード）
- ・通知カード（自治体から送付されたカード）+本人確認書類

**費用** 原則として医療費の1割が本人の負担となります。ただし負担が大きくなりすぎないよう、所得等に応じて月額上限額が設定されます。その他、継続して高額な医療費が生じる方は月額上限額が軽減される場合があります。

**問合せ** 身体障害者：障害福祉課 ☎2998-9116 Fax2998-1147  
(18歳未満の児童の場合：こども福祉課 ☎2998-9223 Fax2998-9035)  
精神障害者：保健センター  
こころの健康支援室 ☎2991-1812 Fax2995-1178

## ④指定難病等医療給付制度 難

埼玉県では、県が指定した疾患について『指定難病医療受給者証』・『特定疾患医療受給者証』・『小児慢性特定疾病医療受給者証』・『指定疾患医療受給者証』の交付を行い、医療費の負担軽減を図っています。毎年度更新が必要です。

※令和7年4月からの指定難病・特定疾患は以下のとおりです。

1	球脊髄性筋萎縮症	40	高安動脈炎
2	筋萎縮性側索硬化症	41	巨細胞性動脈炎
3	脊髄性筋萎縮症	42	結節性多発動脈炎
4	原発性側索硬化症	43	顕微鏡的多発血管炎
5	進行性核上性麻痺	44	多発血管炎性肉芽腫症
6	パーキンソン病	45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症
7	大脳皮質基底核変性症	46	悪性関節リウマチ
8	ハンチントン病	47	バージャー病
9	神経有棘赤血球症	48	原発性抗リン脂質抗体症候群
10	シャルコー・マリー・トゥース病	49	全身性エリテマトーデス
11	重症筋無力症	50	皮膚筋炎／多発性筋炎
12	先天性筋無力症候群	51	全身性強皮症
13	多発性硬化症／視神經脊髄炎	52	混合性結合組織病
14	慢性炎症性脱髓性多発神経炎／多巣性運動ニューロパシー	53	シェーグレン症候群
15	封入体筋炎	54	成人発症スチル病
16	クロウ・深瀕症候群	55	再発性多発軟骨炎
17	多系統萎縮症	56	ベーチェット病
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	57	特発性拡張型心筋症
19	ライソゾーム病	58	肥大型心筋症
20	副腎白質ジストロフィー	59	拘束型心筋症
21	ミトコンドリア病	60	再生不良性貧血
22	もやもや病	61	自己免疫性溶血性貧血
23	プリオン病	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症
24	亜急性硬化性全脳炎	63	免疫性血小板減少症
25	進行性多巣性白質脳症	64	血栓性血小板減少性紫斑病
26	HTLV-1関連脊髄症	65	原発性免疫不全症候群
27	特発性基底核石灰化症	66	IgA 腎症
28	全身性アミロイドーシス	67	多発性囊胞腎
29	ウルリッヒ病	68	黄色靭帯骨化症
30	遠位型ミオパシー	69	後縦靭帯骨化症
31	ベスレムミオパシー	70	広範脊柱管狭窄症
32	自己貪食空胞性ミオパシー	71	特発性大腿骨頭壊死症
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	72	下垂体性ADH分泌異常症
34	神経線維腫症	73	下垂体性TSH分泌亢進症
35	天疱瘡	74	下垂体性PRL分泌亢進症
36	表皮水疱症	75	クッシング病
37	膿疱性乾癬（汎発型）	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症
39	中毒性表皮壞死症	78	下垂体前葉機能低下症

79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症
80	甲状腺ホルモン不応症	125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	126	ペリー病
82	先天性副腎低形成症	127	前頭側頭葉変性症
83	アジソン病	128	ピッカースタッフ脳幹脳炎
84	サルコイドーシス	129	痙攣重積型（二相性）急性脳症
85	特発性間質性肺炎	130	先天性無痛無汗症
86	肺動脈性肺高血圧症	131	アレキサンダー病
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	132	先天性核上性球麻痺
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	133	メビウス症候群
89	リンパ脈管筋腫症	134	中隔視神経形成異常症／ドモルシア症候群
90	網膜色素変性症	135	アイカルディ症候群
91	バッド・キアリ症候群	136	片側巨脳症
92	特発性門脈圧亢進症	137	限局性皮質異形成
93	原発性胆汁性胆管炎	138	神経細胞移動異常症
94	原発性硬化性胆管炎	139	先天性大脑白質形成不全症
95	自己免疫性肝炎	140	ドラベ症候群
96	クローン病	141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん
97	潰瘍性大腸炎	142	ミオクロニー欠神てんかん
98	好酸球性消化管疾患	143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	144	レノックス・ガストー症候群
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	145	ウエスト症候群
101	腸管神経節細胞僅少症	146	大田原症候群
102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	147	早期ミオクロニー脳症
103	CFC症候群	148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
104	コステロ症候群	149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
105	チャージ症候群	150	環状20番染色体症候群
106	クリオビリン関連周期熱症候群	151	ラスマッセン脳炎
107	若年性特発性関節炎	152	PCDH19関連症候群
108	TNF受容体関連周期性症候群	153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎
109	非典型溶血性尿毒症症候群	154	睡眠時棘徐波活性化を示す発達性てんかん性脳症及びてんかん性脳症
110	ブラウ症候群	155	ランドウ・クレフナー症候群
111	先天性ミオパチー	156	レット症候群
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	157	スタージ・ウェーバー症候群
113	筋ジストロフィー	158	結節性硬化症
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	159	色素性乾皮症
115	遺伝性周期性四肢麻痺	160	先天性魚鱗癖
116	アトピー性脊髄炎	161	家族性良性慢性天疱瘡
117	脊髄空洞症	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）
118	脊髄髓膜瘤	163	特発性後天性全身性無汗症
119	アイザックス症候群	164	眼皮膚白皮症
120	遺伝性ジストニア	165	肥厚性皮膚骨膜症
121	脳内鉄沈着神経変性症	166	弾性線維性仮性黃色腫
122	脳表ヘモジデリン沈着症	167	マルファン症候群／ロイス・ディーツ症候群
123	HTRA1関連脳小血管病	168	エーラス・ダンロス症候群

169	メンケス病	215	ファロー四徴症
170	オクシピタル・ホーン症候群	216	両大血管右室起始症
171	ウィルソン病	217	エプスタイン病
172	低ホスファターゼ症	218	アルポート症候群
173	VATER症候群	219	ギャロウェイ・モワト症候群
174	那須・ハコラ病	220	急速進行性糸球体腎炎
175	ウィーバー症候群	221	抗糸球体基底膜腎炎
176	コフィン・ローリー症候群	222	一次性ネフローゼ症候群
177	ジュベール症候群関連疾患	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎
178	モワット・ウィルソン症候群	224	紫斑病性腎炎
179	ウィリアムズ症候群	225	先天性腎性尿崩症
180	A T R-X症候群	226	間質性膀胱炎（ハンナ型）
181	クルーゾン症候群	227	オスラー病
182	アペール症候群	228	閉塞性細気管支炎
183	ファイファー症候群	229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）
184	アントレー・ビクスラー症候群	230	肺胞低換気症候群
185	コフィン・シリス症候群	231	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症
186	ロスマンド・トムソン症候群	232	カーニー複合
187	歌舞伎症候群	233	ウォルフラム症候群
188	多脾症候群	234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）
189	無脾症候群	235	副甲状腺機能低下症
190	鰓耳腎症候群	236	偽性副甲状腺機能低下症
191	ウェルナー症候群	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症
192	コケイン症候群	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
193	プラダー・ウィリ症候群	239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症
194	ソトス症候群	240	フェニルケトン尿症
195	ヌーナン症候群	241	高チロシン血症1型
196	ヤング・シンプソン症候群	242	高チロシン血症2型
197	1p36欠失症候群	243	高チロシン血症3型
198	4p欠失症候群	244	メープルシロップ尿症
199	5p欠失症候群	245	プロピオン酸血症
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	246	メチルマロン酸血症
201	アンジェルマン症候群	247	イソ吉草酸血症
202	スミス・マギニス症候群	248	グルコーストランスポーター1欠損症
203	22q11.2欠失症候群	249	グルタル酸血症1型
204	エマ又エル症候群	250	グルタル酸血症2型
205	脆弱X症候群関連疾患	251	尿素サイクル異常症
206	脆弱X症候群	252	リジン尿性蛋白不耐症
207	総動脈幹遺残症	253	先天性葉酸吸收不全
208	修正大血管転位症	254	ポルフィリン症
209	完全大血管転位症	255	複合カルボキシラーゼ欠損症
210	単心室症	256	筋型糖原病
211	左心低形成症候群	257	肝型糖原病
212	三尖弁閉鎖症	258	ガラクトース-1-リシン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	260	シトステロール血症

障害手帳等

相談・支援の窓口

手当・年金等

医療費の助成

税金・交通運賃等 在宅福祉サービス

社会参加 防災 住宅・施設・その他

261	タンジール病	306	好酸球性副鼻腔炎
262	原発性高カリミクロロン血症	307	カナバン病
263	脳膜黄色腫症	308	進行性白質脳症
264	無βリポタンパク血症	309	進行性ミオクローヌスてんかん
265	脂肪萎縮症	310	先天異常症候群
266	家族性地中海熱	311	先天性三尖弁狭窄症
267	高IgD症候群	312	先天性僧帽弁狭窄症
268	中條・西村症候群	313	先天性肺静脈狭窄症
269	化膿性無菌性関節炎・壞疽性膿皮症・アクネ症候群	314	左肺動脈右肺動脈起始症
270	慢性再発性多発性骨髓炎	315	ネイルバテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B関連腎症
271	強直性脊椎炎	316	カルニチン回路異常症
272	進行性骨化性線維異形成症	317	三頭酵素欠損症
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	318	シトリン欠損症
274	骨形成不全症	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症
275	タナトフォリック骨異形成症	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトル(GPI)欠損症
276	軟骨無形成症	321	非ケトーシス型高グリシン血症
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	322	β-ケトチオラーゼ欠損症
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	324	メチルグルタコン酸尿症
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	325	遺伝性自己炎症疾患
281	クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	326	大理石骨病
282	先天性赤血球形成異常性貧血	327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）
283	後天性赤芽球瘍	328	前眼部形成異常
284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	329	無虹彩症
285	ファンコニ貧血	330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症
286	遺伝性鉄芽球性貧血	331	特発性多中心性キャッスルマン病
287	エプスタイン症候群	332	膠様滴状角膜ジストロフィー
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群
289	クロンカイト・カナダ症候群	334	脳クレアチン欠乏症候群
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	335	ネフロン瘍
291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	336	家族性低βリポタンパク血症1(木モ接合体)
292	総排泄腔外反症	337	木モシスチン尿症
293	総排泄腔遺残	338	進行性家族性肝内胆汁うつ滞症
294	先天性横隔膜ヘルニア	339	MECP2重複症候群
295	乳幼児肝巨大血管腫	340	線毛機能不全症候群（カルタゲナー症候群を含む）
296	胆道閉鎖症	341	TRPV4異常症
297	アラジール症候群	342	LMNB1関連大脳白質脳症
298	遺伝性睥炎	343	PURA関連神経発達異常症
299	囊胞性線維症	344	極長鎖アシル-CoA脱水素酵素欠損症
300	IgG4関連疾患	345	乳児発症STING関連血管炎
301	黄斑ジストロフィー	346	原発性肝外門脈閉塞症
302	レーベル遺伝性視神経症	347	出血性線溶異常症
303	アッシャー症候群	348	口ウ症候群
304	若年発症型両側性感音難聴	349	橋本病
305	遅発性内リンパ水腫	350	特発性好酸球增多症候群※1

351	原発性骨髓線維症
352	溶血性貧血※2
353	スモン

354	プリオン病※3
355	難治性肝炎のうち劇症肝炎※4
356	重症急性胰炎※4

- ※1 好酸球性消化管疾患、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症及び好酸球性副鼻腔炎を除く。
- ※2 自己免疫性溶血性貧血及び発作性夜間ヘモグロビン尿症を除く。
- ※3 ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。
- ※4 平成27年1月1日以降、この2疾患は特定疾患医療給付制度の新規申請受付を行っていません。
- ※5 令和3年11月以降、自己免疫性後天性凝固第X因子欠乏症は、指定難病288（自己免疫性後天性凝固因子欠乏症）へ統合しました。

所得状況に応じた自己負担分があります。

小児慢性特定疾病、先天性血液凝固因子欠乏症等、詳しくは狭山保健所までお問い合わせ下さい。

問合せ 狹山保健所 04-2941-6557 Fax 04-2954-7535  
保健医療課（新規申請のみ※5） 2998-9385 Fax 2998-9061